

《各学年の特徴》

- 3年 身の周りのことから課題を見付け、意欲的に学習に取り組んでいる。調べ方やまとめ方を選択することに課題がある。
- 4年 テーマを基に一人一人が調べ学習を行い、調べ、まとめることができるが、自分の考えをもつことに課題がある。
- 5年 テーマを基に課題を設定し、その解決に向けてすすんで活動することができる。
- 6年 活動のねらいを捉え、自身の興味・関心に合った課題を設定し、活動を進めることができる。

育てたい力（課題）

- 3年 体験的な活動を通して、自ら学び方を考え、判断できる力
- 4年 身近なことから課題を見付ける力、解決するための方法を考えたり必要な情報を収集したりする力、まとめ発表する力
- 5年 問いを見だし、課題解決に向けて、多くの情報から必要なものを精選し、相手に伝わりやすい発表ができるようにまとめる力
- 6年 自ら課題を見付け、友達や地域の人々と積極的に関わり、必要な情報を収集・選択し、適切な方法でまとめ、表現する力

☆授業改善の具体策☆

- ・地域人材の活用 ・学年合同での指導 ・他教科との合科的指導
- ・言語による分析、表現 ・ICT機器の活用 ・ポスターセッション
- ・既習事項の応用、活用 ・ホワイトボードの活用

《知識及び技能》

- 3年 課題解決に必要な知識の習得のために、地域人材を活用し、体験的活動を取り入れる。
- 4年 課題を設定したり解決したりするために、地域人材を活用し、体験的な活動を取り入れる。
- 5年 課題を解決するために、地域人材を活用し、体験的な活動を取り入れる。
- 6年 課題を解決するために、地域人材を活用し、体験的な活動を取り入れる。

《思考力・判断力・表現力等》

- 3年 調べたことを、ICT機器等を活用してまとめ、その資料を使いながら発表する場面を設定する。
- 4年 自分の課題に合わせた資料を選択できるようにし、ポスターやICT機器を活用してまとめ、他学年や保護者に発表する場を設定する。
- 5年 調べたことをポスターやICT機器を活用してまとめ、ポスターセッションやプレゼンテーションの形式で、他学年や保護者に発表する場を設定する。
- 6年 課題解決に効果的な発表の方法を考え、表現できるように、ICT機器や模造紙を活用させる。

《学びに向かう力》

- 3年 他教科等と横断した指導を行い、学習したことを活用する場面を意図的に設定する。
- 4年 学習内容を実生活に生かせるように、他教科と横断した指導を行う。
- 5年 自己を取り巻く環境を踏まえた課題設定ができる授業計画を立てる。また、主体的に取り組めるように、活動の振り返りをさせる。
- 6年 実社会や実生活、地域の様子を踏まえた課題設定を行う。また、主体的に取り組めるように、活動の振り返りをさせる。